



## 冬場の作業時には細心の注意を！！



本格的な冬の到来で、降雪・積雪・凍結を原因とした事故が増加します。

- 今年度も架空線を切断する事故が多数、発生しています。降雪時には架空線が普段よりも見えにくくなり、作業時の架空線への接触・切断の危険性が更に高まります。平常時から、架空線に対しての明示等をしっかりと行い、降雪・積雪時の作業に支障が出ないように、作業手順を整理してください。
- 路上では路面凍結によるスリップ、制動距離の延長、降雪による視界不良等により、ダンプ等の車両による事故(もらい事故も含む)が発生する可能性が高くなります。路面の状態のチェックや、遠くからでも、作業中であることが、ダンプ等の工事車両や一般車両に認識できるように、対策して下さい。
- 作業現場では、足場や通路の凍結による転倒・転落事故、コンクリート打設時の練炭養生の際の一酸化炭素中毒にも気を付けてください。
- 除雪作業時は後方の車両や周辺に注意し、構造物等との接触を避け、慎重な運転操作を心掛けるようにしてください。
- 構造物等は事前に確認し、降雪時にもわかるように明示を行い、また、排雪時には、降雪により見えにくくなり、構造物の損傷に注意し、排雪場所も十分に検討してください。

本年は暖冬で、雪が少ないですが、油断してはいけません。突然の大雪になることもあります。下記に積雪時期におこった事故事例を掲載いたします。安全対策の参考にしてください。

### 事例 1

#### 事故概要

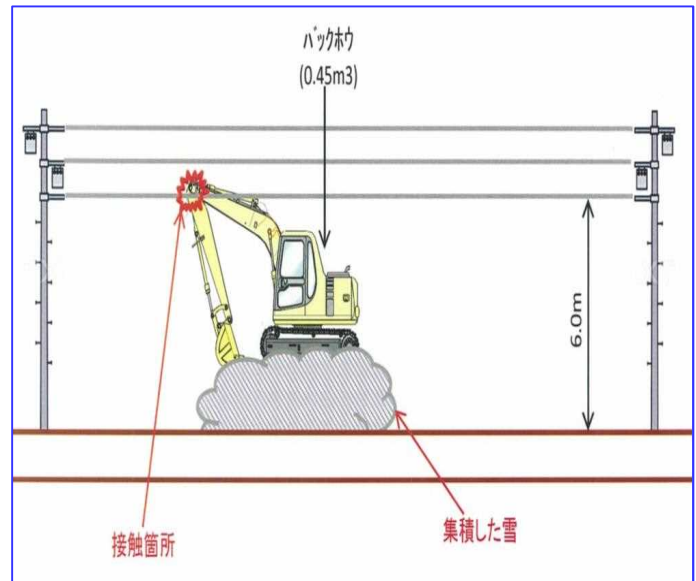
現場事務所にて、バックホウ(0.45m<sup>3</sup>級)で除雪作業(集積された雪山の上での作業)をしていたところ、高さ6mのNTTの架空線一本を切断した

#### 事故原因

- 除雪作業が突発的な作業であった為、架空線の防護対策が想定されておらず、作業指示に不備があった
- 架空線周辺作業時の注意喚起の措置がされていなかった

#### 防止対策

- 重機作業時の合図者の配置
- 架空線防護の為の注意喚起の措置(三角旗等)



### 事例 2

#### 事故概要

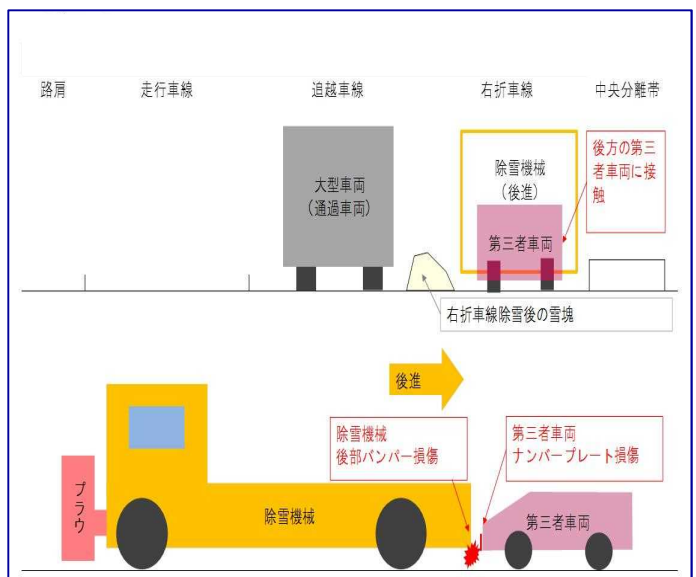
道路上の除雪作業において、右折車線で、雪塊除去のため、除雪機械を後進させた際、除雪機械後方に停車していた車両に接触した

#### 事故原因

- 作業手順書の中で除雪機械後進時の安全確認作業を定めておらず、元請から下請への安全指示が不足していた

#### 防止対策

- 後進時における後方確認作業を追加した作業手順を作成し、指示をする





# 建設工事安全対策推進協議会の取組み (好事例集)の公表について



近畿地方整備局のHPに平成27年12月に「工事等事故防止対策における好事例集」を作成し公表しました。また、併せて、昨年3月に事故防止支援対策として掲載した「建設工事事故防止の為に安全対策強化支援について(H19~H25)」について、平成26年度分を追加しました。

下記にアクセス方法と内容について公表場所を掲載しますので、現場に於ける工事事故の予防保全に役立てて頂けたらと思います。



## (操作手順)

近畿地方整備局のHP(TOP)から、「企画部」→企画部内のページの「お知らせ情報」→追加した資料にリンクをはっております

※注 □内が追加した資料です。

- ▶ [建設事故防止のための安全対策強化の支援について](#) (担当:技術調査課)
- ▶ [建設事故防止のための安全対策強化の支援について\(平成26年度版\)](#) (担当:技術調査課)
- ▶ [建設工事事故防止対策\(平成26年度安全啓発ノード\)](#) (担当:技術調査課)
- ▶ [工事等事故防止対策における好事例集](#) (担当:技術調査課)

## 工事等事故防止対策における好事例集 (一部抜粋)

建設工事安全協議会の建設業の各団体の現場における好事例を集めたものです。事故の種類毎に分類しています。作業員の工夫事例もございますので下請業者への提供もお願いいたします。

工事等事故防止対策における好事例集

対策名称	事例番号	(整理番号)
2丁掛け安全帯の使用徹底の教育・啓蒙	1	1
(大分類)	(小分類)	
A 要索	1 安全帯等の工夫	
B 機軸機械	2 安全帯後の工夫	
C 掘削機械	3 作業環境(環境環境、連絡体制等)	
D 工具等取扱	4 作業計画	
E 飛来・落下	5 建設機械	
F 転倒・滑倒	6 作業工具・保護具	
G 交通(巡回・維持作業中)	7 その他	
H 交通(交通規制中)		
I 交通(その他)		
J その他		
防止対策内容	H橋と縦断取り付け設備を朝孔広場の一角に組み立て、高所作業を実施する作業員全員が安全帯を掛け替えて歩行する距離を朝孔終了後に実施する。安全帯を適用したの専ら事故防止に対する作業員の意識の高揚を図る。	
図又は写真等		

事例番号: (大分類) - (小分類) - (整理番号)  
(ページ番号)

## 建設事故防止のための安全対策強化支援について (平成26年度版)(一部抜粋)

直轄工事で過去に発生した事故を活用し、作業内容と事故要因に対し、各々の事故事例を作成し、どのような原因で事故が起こったかが解るようになっています。

事故事例や要因・対策を参考にして、事故防止に役立てて下さい。

### 事故事例

事故型式 : 作業ロード2 - 事故の要因5、10  
 事故発生日時 : 平成26年11月8日  
 事故発生都道府県 : 兵庫県  
 被災者/被災程度 : 水道管(給水管)PPg50mm 破損  
 (物損程度/影響) (断水4件(約2時間))

事故概要 : 付替水路工において、戻り作業を終え、法面を整形していたところ、市水道管(φ50)を切断した。

事故原因等 : ①水道管業者との協議結果である「水道管付設施工時は人力による手振り試験を行うこととなっていたが試験作業をしなかった。  
 ②水道管の近接作業において、元請が作業時に作業員に対し、人力で行う際の指示ができていなかった

改善対策 : 地下埋設物管理業者との協議結果について遵守する

事故状況写真

事故概要説明図

給水管φ50切断事故

# 今年も、事故0件をめざして！ご安全に！